



THE SERVICE CLUB OF YMCA  
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2024年7月

# 札幌クラブ

Kick Off・PR

c/o YMCA  
MINAMI 11 NISHI 11  
CUO-KU SAPPORO  
〒064-0811  
011(561)5217

## — 主題 —

国際会長 「Sunshine & Smile」  
 アジア会長 「変革のための光となろう」  
 東日本区理事 「Our Future Direction」  
                   「ワイズの方向性を見極める」  
 北海道部部长 「Well Beingなワイズライフを！」  
                   「健康で楽しいワイズライフを！」  
 札幌クラブ会長 充実した人生を送るためのワイズ活動」

チャーミング・シェン (台湾)  
 ジョウン・ウオン (香港)  
 山田 公平 (宇都宮)  
 柴田 伸俊 (札幌)  
 小野 健 (札幌)

## 札幌クラブ役員

会長 小野 健  
 副会長 山崎 修  
 書記 本宮 大輔  
 会計 秋葉 聡志  
 直前会長 小野 健

「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。」  
 (ヘブライ人への手紙 11章 1節) 秋葉 聡志選

## 巻頭言

## 個人の権利と社会の共通性のバランスを！ 宮崎 善昭



先日、フランスで2016年に改訂された「死を望む人々(自殺)の為の法律」(安楽死)をさらに積極的に用いる法律(医師による自殺の積極的関与)を国民議会で議論しているという記事を見ました。ヨーロッパでは、オランダ、スイスを始め数か国が積極的安楽死(尊厳死)を認める法律が2001年頃から施行されているようです。この考え方は、ポストモダン(脱近代主義)の影響によるものだと言われています。すなわち、万人に共有される(普遍的)真理を否定し、個々(相対的)の真理を正しいものとする考え方で、今日の、多様性の容認、自己責任、グローバル・スタンダードに結びつくのではないかと思います。

自殺は、人の生きる権利の放棄(逆には生きる権利の保証)であり何人たりとも社会といえどもこれを否定することはできないというものです。

現在の日本に目を転じてみると、少し古いですが2017年の総理府の高齢者白書によれば、91.1%の人が延命治療を希望していないという数字が出ています。消極的自殺として広い意味で安楽死(尊厳死)ということが出来ます。日本では個人の人生に対2016する社会的合意として、生きる権利ではなく生きる義務を大切に、人生は個のもの

であるよりも周囲の家族や友人のものであるという考え方が主流である様に見えます。従って、どのような理由があろうとも積極的自殺(医師による自殺補助)は認められず殺人という犯罪になります。

私は、ポスト・モダンの個の自由な発想に基づく真理をあまりに絶対化してこれを汎用化していくことは、共に生きることが人間の基本的な生き方であるという社会共有的な真理がどんどん後退し、共通社会善(必要だと思っている)が失われていくことを懸念します。

異質は極力受容するものの、限界があると思うのです。限界を超えたところは、他者とのコンフリクト(争い)しか解決策は無くなり、大きい者、強い者が生き残る弱肉強食の世界に逆戻りするのではないかと危惧します。ひょっとしたらグローバル・スタンダードの行き着き先のような気がするのです。

嘗て山本七平が「空気の研究」で、日本の社会における村度文化は文化的人間成長にとっては如何なものかという問いかけをしました。しかし、あまりにも空気を読まなさすぎる(読む必要がない)文化も問題ありではないでしょうか。

YMCA 運動の基本が SPIRIT, MIND, BODY のバランスの取れた個人の養成による世界平和であるならば、個人の真理か社会の真理かの二者選択ではなく個人の権利に基づく真理とともに社会の共通性における真理とのバランスが肝要ではないかと思うのです。

その意味で村度大いに結構というのは如何でしょうか? 団塊世代の絶滅種のたわごとでしょうか?

2024年6月例会  
出席報告

在籍会員 13名 出席者 12名 ネット 1名 メーキアアップ 1名  
 ゲスト 3名 ビジター 1名 出席者合計 18名 出席率93%

## 札幌ワイズメンズクラブ 2024年7月例会

日時：2024年7月16日（火）18:30～20:30

会場：北海道YMCA 101教室+リモート

会費：1,000円

司会 本宮 大輔

- ① 開会点鐘 会長 小野 健
- ② ワイズソング、ワイズの信条 全員
- ③ 今月の言葉・なぜこの言葉を 秋葉 聡志
- ④ 開会あいさつ 会長 小野 健
- ⑤ 誕生日 7月 3日 中田 靖泰  
7月15日 小野 エリナ
- ⑥ 結婚記念日 なし
- ⑦ 卓話

### 「グッツドライブ中間報告」 菅 遙香さん ★ 油井 達海

- ⑧ 諸報告
- ⑨ YMCA報告 担当主事 北川 佳治
- ⑩ 私も一言
- ⑪ 今月の歌  
「ほたるこい」 北川 佳治選
- ⑫ 閉会あいさつ、閉会点鐘

札幌クラブ会長 会長 小野 健

## 新米会長の1年を振り返って!

札幌クラブ会長 小野 健

私の海外での仕事で日本/札幌にいないことが多いという事情もあり、諸先輩方に甘える形でクラブの役職にはタッチしてこなかったのですが、2023 - 2024 年期の札幌クラブの会長の職を努めさせていただきました。まさに新米会長、しかも1年のうちに半分程度しか日本にいない中、オンラインでの例会参加が多く、ワイズメンズクラブのことを良く知らず日々是勉強、クラブイベントはメンバーの皆さんのお力を借りながら、文字通り手探りの1年間でした。そうした中、札幌北クラブの皆さんが合流され、本宮さんが新たな仲間に加わり、汝羊寮が久しぶりに学生を迎え、京都パレスクラブの皆様に来札いただき、十勝帯広での東日本区大会が開催されるなど、様々な節目、ターニングポイントの時期に札幌クラブの会長を務めさせていただいたんだと、この原稿を書いていて改めて気づきました。

昨年度は、札幌クラブと汝羊寮の学生の皆さんとの交流（飲み会例会やチミケップワーク）を少しずつスタートさせ、札幌 YMCA ボランティアリーダー会の皆さんと SDGs ユースアクション「グッツドライブ」を立ち上げることができ、本当に最初の一步ですが、若い人・ユースを応援するという、ワイズのいわゆる王道の活動が少しでもできたのかな、と思います。また、クラブ会長を務めていく中で、北海道部、帯広・北見クラブ、そして東日本区のワイズメンの皆さんとの交流も少しですができたことは、私にとっても貴重な経験でした。

しかし、もっとワイズならではの活動をよりアクティブにできるのではないかと、もっとワイズの活動を通じてメンバーが楽しみ、人生に生きがいを見出すことができるのではないかと、もっとユースを応援することができるはず、と自分自身の反省も多かった1年でした。このため、もう1年クラブ会長を務めさせていただくことになりました。2024-2025 年期は、昨年以上にユースとの交流活動を活発にして、我々シニアは若い人からエネルギーをもらい、シニアの経験などを若い人に伝えていけるような、ワイズが汝羊寮とボランティアリーダーを繋げて「ウインウイン」の関係を築いていきたいと考えています。その中でワイズとユースとの関係はどうあるべきかという長年の課題についても模索していく1年でありたいと考えています。

活動を通じてワイズって楽しそうなクラブだな、どんなことをやっているのだろうと、周りの人が関心を持ってもらい、ワイズについての情報発信もしていくことで、新しいワイズの仲間が加わってもらえるようにしたいですね（そこはクラブの皆さんのご協力を本当にお願いします!）。さらに私の仕事が忙しくなっており、自分自身も大変な中で今期クラブの運営となります。皆さんからのご支援と叱咤激励をよろしくお願ひします!!!

### 何故この歌を! 北川 佳治

私の地元に、西岡水源池と呼ばれる貯水池を中心に月寒川及びその上流域の湿原と森から成る公園があります。今から40年程前、虫取り籠と網を持ってよく遊んだ公園です。水がとともきれいで、時期になると、小川沿いに無数のホタルが見られ、その感動は今でも残っています。どっちの水もあまかったのでしょうか。

### 何故このことばを! 秋葉 聡志

2024年度北海道YMCAの年間聖句です。ともすると、目に見えるもの、かたちのあるものしか信じられない私たちですが、聖書は、この世界が目に見えない神の意思によって形づくられていることを語ります。私たちが成そうとすることも、はじめから形があるわけではありません。まずそこに見えない事実として神様の御心があり、それを受け止め私たちが意志を持つことで形が整うのだと思います。

## 全リー研(全国 YMCA リーダー研修会)参加報告

### リーダーとしての在り方に向き合った3日間 菅 遙香(はる)

「リーダー」とはどうあるべきなのか、全国の仲間達との交流を経て改めて考えさせられた3日間でした。

初日に様々なリーダー達「理想のリーダー像」について話していくなかで、皆子供同士の関係構築に重きをおいていることが伝わってきました。しかし、自分はプログラムの進行に重点をおき子供同士の関係にあまり焦点を当てられていないことに気が付きました。

研修会初日の時点で今までの自分の活動への姿勢を内省し、この研修会で自分にとってのリーダーとしての在り方について模索することを決めました。

各地のリーダー達との交流を通して子供達にとって

有意義な時間を生み出すためには、「リーダー同士の連携」「子供達にどのように感じてほしいかを考えたプログラム作り」そして「リーダー自身が全力で楽しむ」ことが必要であると思いました。

私自身、普段は初対面の人と盛り上がることは苦手でしたが、研修会では全国のリーダー達の明るく全力で楽しむ姿勢につられ楽しい時間を過ごすことができました。リーダー自身が楽しむことで積極的に動くことが好きな子だけでなく、得意でない子も楽しむことができるということについて身をもって実感しました。

子供がより成長し、子供達同士の関係づくりが出来る

るように全体を見て動くことそして全力で楽しむ姿を子供達に伝えることが私の役目だと考えています。

全国リーダー研修会に行くことができたことは自分にとってかけがえのない経験になりました！ 貴重な機会をいただき本当に有難うございました。



### 3日間で感じたリーダーとしての可能性 藤野結衣(ゆっち)

3日間という時間は長いようで、本当にあっという間に流れていきました。さまざまなプログラムに参加していく中で多くの驚きや発見、喜びがありました。日本全国のリーダーたちがどのような思いを持って活動しているのか知り、語り合っただけで笑い合った時間はすべて私にとって大切な宝物です。

テーマにあった、可能性は無限大という言葉について考えたとき、それはこの3日間で出会ったリーダーたちが教えてくれたように感じます。一人ひとりの、YMCA や活動に対するあふれんばかりの情熱や、リーダー自身が全力で楽しむという気持ちに触れられたことがリーダーとしての無限の可能性につながっていくのだと思います。こ

れからリーダーとして子供たちとかかわっていくなかで、この経験を無駄にすることなく、北海道YMCA をさらに盛り上げていけるように、そして私と過ごした時間が心から楽しかったと思え、たくさんの学びを得て成長を感じてもらえるよう、3日間で得た可能性を信じてこれからも活動に励んでいきたいと思っています。

私は昨年のユースボランティアリーダーズフォーラムに引き続き、全国リーダー研修会にも参加させていただきました。全国のリーダーが一堂に会する場に北海道の代表として参加できたことは大変貴重な機会であり、幸せなことだと感じています。本当にありがとうございました。



写真右… 全国のリーダー仲間と固い絆が結ばれました。人文字は何と書いているのでしょうか。読めますか？

## チミケップ・キャンプ場設営準備ワーク

元北海道部部长 伏木 康

6月15日～16日、ワイズメンズクラブ北海道部主催のチミケップ国際キャンプ場設営準備ワークボランティアに札幌クラブから柴田ワイズと私2人で参加しました。

今年は参加者が少なく、柴田さんと私も高齢でわずかなワークしかできないため、今年はユースに同行をお願いしました。当初、まだチミケップに行ったことのない札幌YMCAのリーダーがいればちょうどいいと考えました。

しかし、当日は札幌会館でユースチャレンジの「グッズドライブ」のイベントとバッティングしていることが判明、雲行きが怪しくなりました。なんとか、半分ぐらいのリーダーが参加してくれないかと思ったのですが、リーダー全員参加で「グッズドライブ」に注力したいと回答があり、ユースリーダーの同行を断念しました。

日程調整がうまくいかなかったことを反省していたところ、学生YMCAの汝羊寮から数名の有志がワイズワークに参加すると連絡がありました。



ワーク実施日は3名の汝羊寮生に同行していただき、落ち葉拾いやメインホール廊下のワックスがけのワークを行うことができました。初日のワークの後には全道のメンバーで夕食を囲みながら交流を図りました。翌日のワーク後も湖畔でSUPやカヌーを通じて、水の安全を考えることを検討していましたが、強風のため中止になりました。

札幌に帰る途中、北見近郊の「のんたの湯」に寄り、ワークの汗を流しました。



## 2024年チャリティラン報告

北海道部部长 柴田 伸俊

駅伝方式の対面レースは2019年以来4年ぶりの真駒内公園での開催であった。全部で6チーム参加（一般4チーム、ジュニアアフター2チーム）となる。

ワイズは当初コーヒーマービスでの参加予定であったが、参加チームが少ない事を聞き急遽駅伝実走チームを出そうとの無謀な意見が通り当日を迎えた。



第一走者：柴田→第二走者：秋葉→  
第三走者：伏木→第四走者：伏木健太君→  
第五走者：小野会長

のメンバーで挑んだ

申告タイム 1時間20分、実走タイム 57分01秒  
タイム差 22分59秒。

皆必死の力走を見せたのがかえって仇となり結果は3位で終了した。力走の影響は二日後にしっかりと下半身にダ



## 写真説明

左上： 2年ぶり！懐かしの聖地チミケップのメインホール

左下： 帰路立寄った銘湯「のんたの湯」

皆、疲れ切ってグッタリしています。左端、柴田北海道部部长。右3人はボランティア初体験の北大汝羊寮生。シャッターを押している伏木ワイズをお忘れなく。

右下： 「お父さん、僕、優勝しちゃった！」

## YMCAニュース

## 短期集中サマープログラムいよいよ開始

担当主事 北川 佳治



7月26日より北海道各地で行うキャンプおよび札幌YMCA館内で実施するアクアティック、フロアスポーツ、学びのプログラムが順次行われます。今年は、市内小学校の夏休み期間が延長されていますので、キャンプ企画を例年より多く揃えています。また、外部機関の協力を得て、ひとり親世帯などの家庭に向けたキャンプも

企画しております。以上、総勢1,000名を超える子ども達がYMCAで体験活動の機会を得ます。ひと夏の思い出づくりと良き経験を積んでもらえるように、スタッフ一同準備を進めてまいります。



## 札幌クラブ6月事務会報告

## ブリテン用短縮版

秋葉作成

短縮版作成

中田

日時：2024年6月25日（火）19:00～21:00

場所：札幌YMCA総主事室＋オンライン

出席：小野（長）★、秋葉、小谷、北川、柴田、中田、伏木、宮崎

## 1. 2024年7月以降の例会卓話について

- ・8月 小野会長「マダガスカル事情」
- ・9月 有坂美紀さん

(RCE北海道道央圏協議会・北海道NGOネットワーク協議会事務局長「市民社会サミット日本代表として参加して」(仮題)

・11月 YVLF 報告 まこっちリーダー ※11月以降の卓話候補ほか

- ・町田コスモスクラブ 加藤メン カトウ折りについて (中田メン紹介)・次期役員研修会講師候補 元旭山動物園園長小菅氏 (中田メンルート)

## 2. Gs ユースアクションについて

- ・6/16 (日) ウォーターセーフティーデーのイベントに合わせて、第1回目子ども服の交換会を実施。秋のチャリティーイベントで第2弾の交換会イベントを予定。

・7月例会でユースアクションの進捗報告とワイズとの連携について話し合う予定です。

・ユースアクションに対する具体的なワイズ伴走は何か?・不要な衣服などの寄付・提供/物々交換イベントへの参加  
・協力/イベントへの告知・情報発信への協力(チラシ配りなど)/ユースアクション報告会への参加/ワイズクラブ例会での報告(卓話)など。

## 3. 秋のチャリティーイベントについて

- ・日程：10月13日(日)・ワイズ コーヒーコーナー実施 ☞グッズドライブ追加・ジャガイモ販売検討。

## 4. 安田文子ピアノコンサートについて

- ・日程・会場：12月4日(水) 札幌文化芸術交流センター(HITARU) SCARTS コート

## 5. ユースとの連携について

- ・ワイズが札幌YMCA ユースボランティアリーダー会と汝羊寮との仲立ちをしながら交流・支援を促進したい。様々な具体的な連携・交流のアイデアが提示され、討議された。

## 6. 京都バレスクラブへの返礼訪問について

小野会長の出張・業務時期を勘案して、9月～11月初旬を予定。先方クラブ例会の日程を確認した上で(現在連絡中)、決定する。

## 7. 次期三役再確認

会長：小野 副会長：山崎 書記：本宮 会計：秋葉

・その他の役割については会長活動方針に沿って担当を割り振ることとし、小野会長に一任。以上。



## 札幌クラブ 2024年6月例会

後列左から：柴田、小谷、伏木、(スクリーン3名)  
秋葉、湯井、宮崎、本宮、北川

前列左から：中田、義村、藤野、菅、藤川、小谷メネ  
バックスクリーン：左から、山崎、小野会長、山下(十勝)  
藤川メネット最後の出席の例会です。